

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	令和8年度第1回伊勢崎市いせさきGX推進市民協議会
開 催 日 時	令和8年5月14日(木) 午前10時00分～12時10分
開 催 場 所	清掃リサイクルセンター21 管理棟3階 大会議室
出 席 者 氏 名	(委員) 松島会長、神部副会長、都丸委員、齋藤委員、洪澤委員、篠崎委員、松本委員、渡辺委員 (伊勢崎市) 臂市長、塩島環境部長、井上環境部副部長、小此木GX推進課長、桑名課長補佐、柳澤主任
傍 聴 人 数	2 人
会 議 の 議 題	議事 (1)第2次伊勢崎市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について (2)令和8年度 親子環境教室について (3)令和8年度 花と緑と環境フェアについて (4)いせさきGX市民講座について (5)暑さ対策について
会 議 資 料 の 内 容	・次第 ・名簿 ・資料
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	1 開会 市長挨拶 委員自己紹介 事務局紹介 会長、副会長の選任 互選により、会長に松島委員、副会長に神部委員が選任された。 2 議事 (1)第2次伊勢崎市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について ＜事務局から資料に基づいて説明＞ 会 長：昨年度の計画の改定の際にはパブリックコメント手続も実施され、かなり意見が寄せられたようです。

	先ほどの説明で何かご質問等ありますか。 委員：パブリックコメント手続について、どのような意見がありましたか。 事務局：27件の意見がありました。代表的なものとして、公共交通の関係や、太陽光発電、暑さに対する対策についてなどの意見があり、それぞれ貴重な御意見として、できる限り反映をさせていただきました。 (2) 令和8年度 親子環境教室について ＜事務局から資料に基づいて説明＞ 会長：先ほどの説明で何かご質問等ありますか。 委員：なぜ親子環境教室なのでしょう。 事務局：目的としては、環境問題に対して当事者としての意識・知識を高め、地球温暖化対策などの取組について市民1人ひとりの行動変容を促せるよう、親子で環境への意識・知識を高め、考える機会を設けるものとして親子環境教室を開催するものです。 会長：令和7年度は、バイオームのフィールドワークを実施しましたが、やはり夏の暑い時期に外での学習を行うのは危険だと感じたので、今年は秋開催も実施することを事務局と検討しているものです。 委員：毎回の定員が15家族というのは少ない印象ですがどうでしょうか？ 事務局：会場に入れる人数の都合などもあり、案のとおり15家族で進めさせていただければと考えます。 (3) 令和8年度 花と緑と環境フェアについて ＜事務局から資料に基づいて説明＞ 会長：親子環境教室の秋開催を、この花と緑と環境フェアで実施したいと考えています。 何かご質問、ご意見はありますか。 委員：不特定多数の人々がくるイベントなので、子どもだけでも参加できると思います。 委員：イベント的にちょっと立ち寄る感覚の人が多く、長い時間拘束されるのは、好まれないと思います。
--	--

	委 員：秋開催はイベントのなかでやるとなると準備も難しいと思います。 会 長：今回については、まず事前に登録してもらった方がいいのではないかと考えています。バイオームアプリをインストールしてもらった必要などもあり、アプリのクエストなどに時間を区切ってチャレンジしてもらったなどを検討しています。午前と午後1回ずつなどを想定し、生物を見つけた、植物を見つけたなどの体験をしていただくことを考えています。 委 員：バイオームとは何でしょうか？ 会 長：虫や花にカメラを向けるとその名称などがわかるアプリです。バイオームを使った内容は次回会議で改めて検討することとします。また、花と緑と環境フェアでは、バイオームだけではなく、別の企画として、コンポストで作った堆肥を、放棄されている竹林から切りだした竹を鉢に加工し、そこにサニーレタスや花の種を市民に植えてもらう活動を実施したいと考えています。 ＜コンポストについての説明＞ 会 長：ありがとうございました。 昨年実施した内容から変更し、親子でさまざまな環境問題について考える機会にしたいと思います。 委 員：昨年の花と緑と環境フェアにも大勢の子供たちが来ていたと思います。運営に人が多く必要になるのではないのでしょうか。 委 員：説明から苗を植えるまでの1サイクルにどのくらい時間がかかり、何人さばけるか逆算して参加人数を設定するのが良いのではないのでしょうか。 委 員：竹で作る花苗など入れる鉢やそれに入れる土はどう用意しますか？ 会 長：竹や培養土を用意する考えです。あくまで「ごみは減らせます」ということを知ってもらうことが目的で、やり方については次回までの検討とします。 事務局：今回は初めての取組になるので、テスト的な運営として午前50人、午後50人程度を想定してはいかがでしょうか。 会 長：今年の花と緑と環境フェアのブースの内容については、バイオームを使った親子環境教室と廃竹を使った取組、その2つを柱にしたいと思います。
--	---

	(4) いせさきGX市民講座について <事務局から資料に基づいて説明> 会 長：今年の市民講座では、群馬県の脱炭素まちづくりカレッジと連携した内容を検討しています。委員の皆様全員と一度体験してみたいと思っていて、次回の会議では、脱炭素に関するすごろくゲームをやってみたいと思います。 委 員：群馬県が作成した脱炭素に関するすごろくゲームで、クイズもあり意外と回答に迷う内容になっているので一度体験してみただければと思います。 (5) 暑さ対策について 委 員：会議中の意見を市民協議会として形にできたらいいと考え、チラシを作成しました。市民協議会からの発信とわかる形で表示をしたいと考えています。 委 員：対象がお年寄りだけではないのであれば、イラストも親子や子供も使ってもらえると、より幅広い世代に気にしてもらえそうです。 会 長：これについてはまた次回の会議でもどのように発信できるか検討していきたいと思います。 3 その他 次回の日程について 日時：6月11日（木）午前9時30分から 会場：清掃リサイクルセンター21 大会議室 4 閉会
--	---